



ふれあい児童会集会

7月1日(水)には、今年度はじめての児童会行事「ふれあい児童会集会」を行いました。今年度の児童会役員の会長智則さん、副会長冬馬さんが、工夫して企画・運営し、よい児童会集会となりました。

はじめに、縦割り班ごとでゲームをしました。内容は、①短なわチャレンジ、②テル合戦でした。短なわチャレンジでは、短なわを各個人で跳んだ回数を、チームの合計で競うものです。どの子も決められた時間の中で、一生懸命挑戦する姿が印象的でした。また、続いて行われたテル合戦では、テルボールをダンボールに向かって投げ合い、相手陣地より多くのダンボールを寄せた方が勝ちというゲールをみんなで楽しむことができました。勢いよく投げないとダンボールが当たっても動かないので、子どもたちは力いっぱいなげる様子が見られました。

クイズでは、2年生以上が一人ずつ前に立って順番に問題を出し、周囲の子が回答するやり方で楽しむことができました。2年生からは、畑で植えているもの、3年生からは、ドイツ語でこんにちは、4年生からは、1年生のおたよりの名前、5年生からは、日本の1番北のはずれにある島は。6年生からは、6年教室に飼っていない動物は、などクイズが出されました。どのクイズもよく考えられていて、楽しい回答がたくさん出ました。

おわりの会では、新しく入学した1年生にメダルのプレゼントがありました。コロナ禍でたいへんですが、子どもたちが笑顔で楽しく活動できるよう、これからも工夫して取り組んでいきたいと思います。



サマーセレクト給食

7月10日(金)サマーセレクト給食が行われました。例年、バイキング形式で自分の好きな分だけ配膳して食べる形をとっていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、事前に選んだ食べ物(セレクト)を食べる形式になりました。児童はこの日を心待ちにしていたようで、笑顔で給食を食べていました。



◇防犯教室◇

6月の交通安全教室に続き、7月8日(水)に防犯教室を行いました。当日は、丹波山駐在所の藤原さん、上野原警察署生活



安全課小宮山さん、佐藤さんより御指導いただきました。「いかのおすし」をはじめ、防犯に関することの意識付けをするよい機会となりました。今後も安全安心に関する指導を学校でも継続していきたいと思えます。保護者の皆さまや地域の方々にもお声がけいただき、毎日子どもたちが安心して登下校できますよう、御理解・御協力をお願いいたします。

ベンジャミン先生お別れ・・・

昨年8月から丹波小中学校のALTとして勤務していましたベンジャミン先生が、1学期末をもって丹波山村を去ることになりました。とても熱心な先生で、ユーモアあふれた授業は子どもたち、先生方からも好評でした。お別れするのはとてもさみしいですが、今後は母国アメリカに御家族で戻れるようです。本当にありがとうございました。



1学期終業式おわりました



74日間(1年生は73日間)に亘る一学期が終了しました。振り返ってみると、新型コロナウイルス感染防止による臨時休業で28日間のお休みがありましたが、その間「家庭訪問」や「オンライン授業」を行い、保護者の皆さまに御理解を得る中、5月22日に学校再開を迎えました。

学校が再開しても「新しい学校生活様式」を徹底していくために、①3密をさける、②こまめな手洗いの励行、③マスクの着用・咳エチケット、④検温・かぜ症状の確認など、これらを基本的な感染症対策として、できる限りのことをしてきました。また、コロナ禍によって、多くの学校行事・PTA活動などが延期または中止となったり、授業内容も文科省や県教委の指導のもと、可能な限り学習内容の定着を図ったりしてきました。まだまだ、不十分なところや未履修の部分については、2学期以降がんばっていきたいと考えています。

終業式では、樋川校長先生より「どの子どもががんばった1学期でした」とお話がありました。児童代表の話では、一人一人が丁寧に1学期を振り返り、夏休みや2学期に向けての強い決意を公表してくれました。明日から32日間の夏休み。児童全員が目標をもち、前向きに取り組んでくれる夏休みになることを願っています。コロナや熱中症等も心配されますが、健康・安全に過ごし、2学期に全員の元気な姿が見られるのを楽しみにしています。